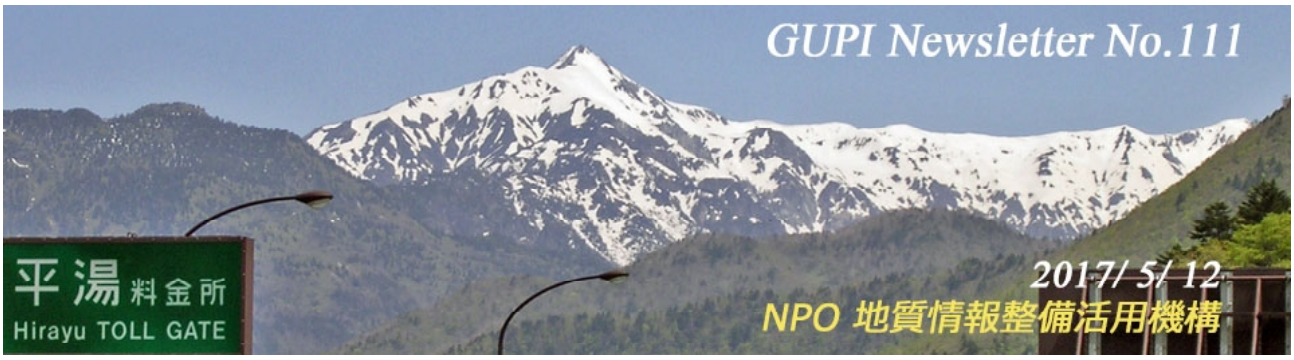


中部縦貫道・阿房トンネル・平湯料金所からの笠ヶ岳

【開催のお知らせ】

平成28年度(第13期)総会
意見交換会「地質技術者の新たな役割」並びに懇親会

平成28年度(第13期)総会

下記の通り，平成28年度総会を開催致しますので，ご出席くださいますようお願い申し上げます。

開催場所：飯田橋レインボーホール1階1A会議室

開催日時：平成29年6月2日(金) 13:30～14:30(予定)

1.開会の辞
2.会長挨拶
3.総会成立の報告
4.議長選出及び議事録署名人の指名
5.議事
　第1号議案平成28年度事業報告承認の件
　第2号議案平成28年度決算及び監査報告並びに承認の件
　第3号議案平成29年度事業計画(案)承認の件
　第4号議案平成29年度予算(案)承認の件
　第5号議案役員改選承認の件
　その他
6.閉会の辞

意見交換会「地質技術者の新たな役割」

最近の地盤災害の多発により，国土交通省は社会資本整備審議会の中に小委員会を立ち上げ，地盤情報の統一的な管理等について検討を始めました。こうしたなか，地質技術者には新たな役割が求められることになります。

意見交換により，今後の当機構の活動の方向性を探ります。

皆様，ご出席くださいますようお願い申し上げます。

主　　催：特定非営利活動法人地質情報整備活用機構(以後，当機構)

開催日時：平成29年6月2日(金) 14:40～16:50(予定)

開催場所：飯田橋レインボーホール1階1A会議室

コメンテーター：
岩崎公俊氏：一般社団法人 地質調査業協会連合会 技術委員長
「国の動向と全地連の対応について」
黛廣志氏：当機構 理事
「当機構のジオ・アドバイザーの活動について」
永野正展氏：当機構 監事
「地方の役割について」
大島洋志氏：当機構 会長
「地質リスクについて」
コーディネーター：
長瀬 雅美氏：当機構 理事

懇親会

開催場所：飯田橋レインボーホール2階2C会議室
開催日時：平成29年6月2日(金) 17:00～18:30(予定)

お願い

会場整理の都合上，ご出席につきましては，過日郵送致しました【ご出席についての連絡】によりFAX下さい。なお，総会に欠席される場合には，委任状にご署名・ご捺印いただき，FAXをお願い致します。

【事務局報告】

通算58回 平成29年度第1回理事会開催報告(概要)

日時：平成29年4月19日(水)15:00～17:00
場所：(一社)全国地質調査業協会連合会 会議室
出席：大島会長，中田副会長，秋山理事，加藤理事，古宇田理事，土屋理事，長瀬理事，
黛理事，(オブザーバー)池田全地連事務局長，(事務局)柴草，根岸
議題1．平成28年度事業報告と決算について ⇒ 議決
議題2．平成29年度事業計画(案) ⇒ 議決
議題3．平成29年度・同30年度役員改選について ⇒ 議決
議題4．平成28年度総会について ⇒ 議決
理事会の議事録は http://www.gupi.jp/GupiReport.html で公開しています。

【事務局報告】

GUPI Free Website 開発・公開について

この程，当機構第1事業部(地盤情報担当)では，「GUPI Free Website」を開発し公開を開始しました。 本レターでは，特徴や利用場面などについてご紹介します。

【1】GUPI Free Websiteの特徴

- 特定非営利活動法人 地質情報整備活用機構（略称 GUPI）が開発したアプリケーショ

ンプログラム(アプリ)を公開するためのウェブサイトです。

- 営利目的，非営利目的にかかわらず，どなたでもご自由にご利用頂けます。
- 地質調査の成果品を作成するために，便利で有効なアプリを中心として開発します。

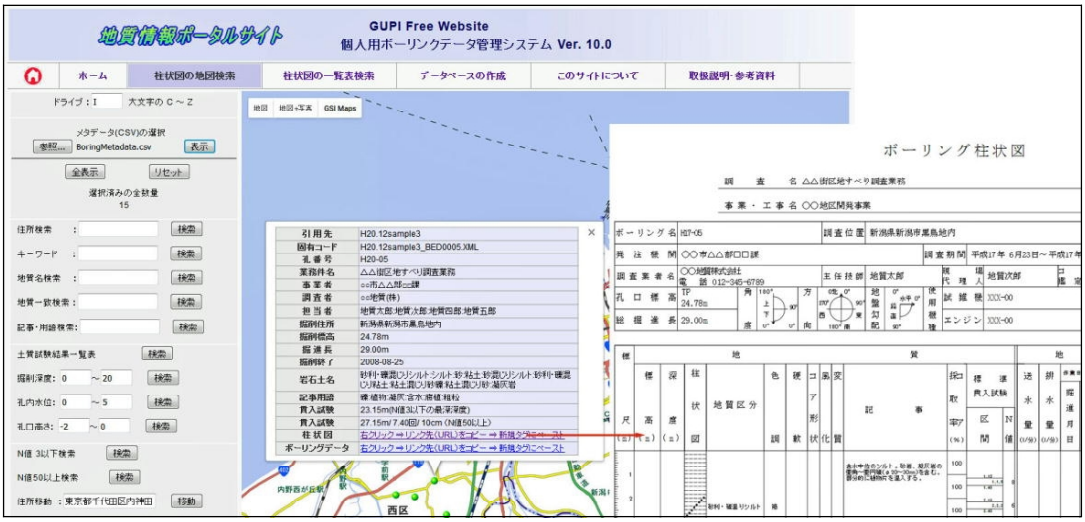
トップページ(部分)。 URL:http://www.web-gis.jp/FreeWebsite/index.html

【2】GUPI Free Website種類

現時点で，4種類が開発・公開されており，それぞれの特徴を以下の略記します。

- 個人用ボーリング管理システム

☆本管理システムは，当機構の運営するサーバにアクセスするだけで利用できます。



☆本管理システムは，パソコン内に保存しているボーリング交換用データ(XML)を使用して，ボーリングデータベース(以後，メタデータ)を自動的に作成し，そのメタデータを使用して「電子地図検索」と「一覧表検索」を行うことができます。

☆インターネットに接続している環境があって，国土交通省の電子納品要領(地質・土質)に準拠したボーリング交換用データ(XML)と，同じく電子柱状図(PDF)があれば動作します。

☆ボーリングデータに必要十分な情報が書き込まれていれば，本システムの他にソフ

トウエアやツールを用意する必要はありません。

☆ボーリングデータと電子柱状図は，利用者のPCの内部のみで処理されます
（データがサーバーに送られて，処理や保存されることはありません）。

☆地図検索にはGoogle Maps API V3．を使用しますが，ライセンスキーは当機構が取得しているものを使用します。

★ボーリング交換用データは，DTD400(平成28年12月)に対応しています。

ボーリング管理システム

☆本管理システムは，ウェブサーバ内に保存しているボーリング交換用データ(XML)を使用して，ボーリングデータベース(メタデータ)を自動的に作成し，そのメタデータを使用して「電子地図検索」と「一覧表検索」を行うことができます。

☆インターネットに接続している環境があって，国土交通省の電子納品要領（地質・土質）に準拠したボーリング交換用データ(XML)と，同じく電子柱状図(PDF)があれば動作します。

☆ボーリングデータに必要十分な情報が書き込まれていれば，本システムの他にソフトウエアやツールを用意する必要はありません。

☆ボーリングデータと電子柱状図は，利用者のPCの処理しますが，データの保存はIISを含むウェブサーバです。

☆地図検索にはGoogle Maps API V3．を使用します。　**利用に当たっては，ご自身で取得したライセンスキーが必要です。**

★ボーリング交換用データは，DTD400(平成28年12月)に対応しています。

電子納品支援システム

☆位置座標値の読取りと確認処理(スマートフォン，タブレット)：

・GPS測定した座標値を表示すると共に，地図上にマーキングする機能があります。

・GPS測定は，ボタンをタップする都度のモードと，一定時間間隔に自動測定するモードがあります。

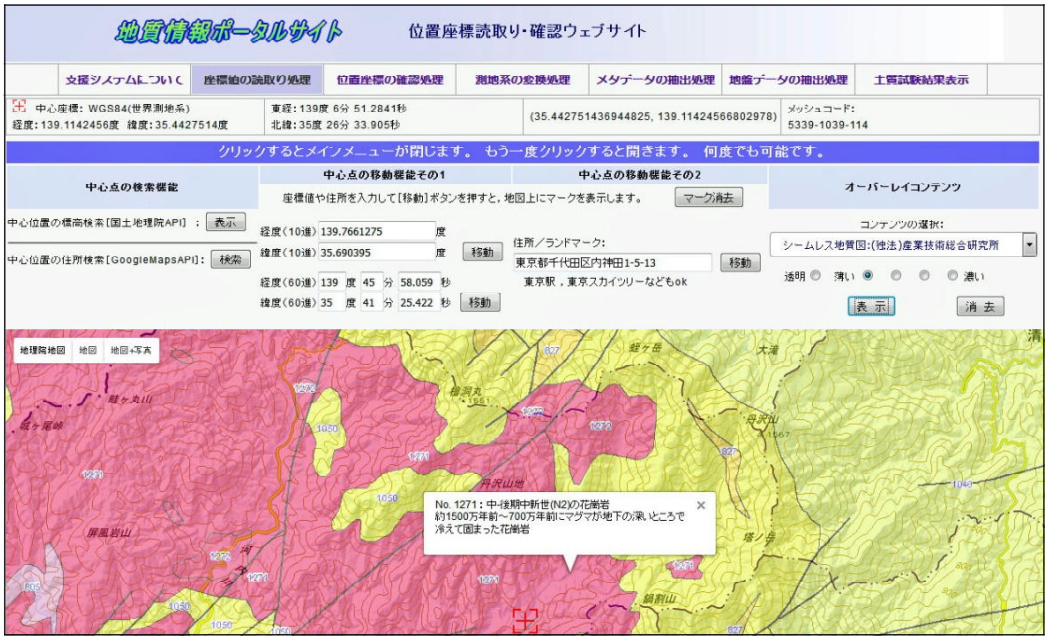
・産総研「シームレス地質図」や国土地理院「標高段彩図」など7種類の地図タイルを閲覧できます。

☆位置座標値の読取りと確認処理(パソコン)：

・中心点の座標値・メッシュコード，推定標高値，推定住所を表示する機能があります。

・指定した経緯度と住所に移動し，マーキングする機能があります。

・産総研「シームレス地質図」や国土地理院「標高段彩図」など8種類の地図タイルを閲覧できます。



位置座標値の読取りと確認処理(パソコン)

☆地質・土質成果とボーリング交換用データの位置座標を確認する処理：

・業務管理ファイル(INDEX_D.XML)の登録情報の表示機能と，地図上に境界枠を表示します。

・ボーリングデータの主な表題情報等の表示機能と，地図上にすべての掘削位置を表示します。

・DTD400（平成28年12月)に対応しました。

☆ボーリング交換用データの位置座標の測地系を変換する処理：

・ボーリングデータの旧測地系値を新測地系に変換し，地図上での新旧の掘削位置を表示します。

★ボーリング交換用データの位置座標から標高と住所を評価する処理：(New)

・ボーリング交換用データに記載されている座標値を電子地図にプロットします。

・国土地理院からは最新の標高値を，GoogleAPIを経由してゼンリンデータベースからは，最新の住所を入手して，交換用データに記載されている各値と共に表示します。

・DTD400（平成28年12月)に対応しました。

☆ボーリング交換用データ(XML)と土質試験結果一覧表データ(XML)から試験値を抽出する処理：

・ボーリングデータに登録されている全ての情報を抽出してCSVファイルに変換します。

・土質試験結果一覧表データに登録されている全ての情報を抽出してCSVファイルに

変換します。

※地層別（平均）N値や地盤パラメータを集約する際に利用すると便利です。

・DTD400（平成28年12月)に対応しました。

☆土質試験結果一覧表データ(XML)をデータシートとして表示する処理：

・土質試験結果一覧表データを「土質試験結果一覧表」として可視化します。

・新旧のデータ形式(STLIST.XML，STBnnnn.XML)に対応しています。

・DTD400（平成28年12月)に対応しました。

地質調査報告書管理システム(旧Web-titan改良版)

☆本管理システムは，『実務に役立つWeb-GIS』の刊行に合わせて開発された，『Web-GIS版電子納品統合システム（Web-titan)』のデータベース構造のうち，主要な部分を継承しています。

☆地質・土質成果電子納品要領にした電子成果品(CD等)から，Web-titanと同様に，地質調査報告書データベースを自動構築すると共に，その管理・閲覧するシステムが構築できます。

★地質・土質調査成果電子納品要領(平成28年10月版)に対応しています。

☆インターネットに直結しているウェブサーバはもちろん，Windows-IIS による localhost でも十分動作します。

☆データベースとはいえ，MYSQLのような「データベースエンジン」は使用しません。従って，ファイルサーバといわれているウェブサーバでも十分に動作します。

☆地図検索にはGoogle Maps API V3. を使用します。　**利用に当たっては，ご自身で取得したライセンスキーが必要です。**

【編集後記】

ニュースレターNo.111をお届けします。

やっと初夏らしい季節になりましたが，皆様いかがお過ごしでしょうか？。

来る6月2日は当機構の総会が開催されます。昨年までは土曜日に開催しておりましたが，意見交換会開催を企画したこともあって金曜日といたしました。 どうぞご了承ください。